

あさひワークホーム 令和3年度 事業報告

今年度は、県からの施設移譲を受け、直営施設として、これまでのサービス内容を継続したうえで更なるサービス向上をめざした管理運営に努めた。利用定員を利用実態に合わせ就労移行8名を6名に、生活介護を38名から40名にそれぞれ変更した。

運営については、協会が策定した「第四次中期経営計画」（平成29年度～令和3年度）、「社会福祉充実計画」（平成29年度～令和3年度）及び施設の管理運営方針に沿って、実施事業である就労移行支援、就労継続支援及び生活介護支援において、より質の高いサービスを提供してきた。

就労移行支援事業は、利用者が作業を通し社会人としての職場マナーや心構えを学ぶとともに就労に対する意欲の向上を図る支援を行った。また、ハローワークや就業・支援センターとの連携のもと企業等の協力を得て、利用者に施設外実習を提供した。

就労継続支援事業は、前年度額を上回る工賃の支給を目標に生産活動を行い、コロナの影響が続くなか、各協力企業からの受注量を調整し、前年度の工賃支給額を上回った。今後も引続き単価の高い効率的な作業種目の開拓や新たな自主製品の開発等に努め、工賃向上に向け努力する。

生活介護支援事業は、日中活動として生産活動の他、創作・外部講師による活動及び運動訓練等を提供した。また、週2回作業療法士により、日常生活をスムーズに送るための訓練を強化してサービスの充実を図った。一方、転倒報告が増加傾向にあり、高齢化等による骨粗しょう症防止のため、施設周辺の散歩による機能低下防止及び栄養士による栄養教育等を行い再発防止に努めた。

施設内の自己評価及び虐待防止等について委員会機能を充実させ、コンプライアンスの徹底を図るとともに、利用者の人権や主体性を大切に良質かつ適切なサービスの提供に努めた。

施設入所事業、短期入所事業は、利用者が安心して安全で快適な施設生活を送るための支援を行うとともに、地域で暮らす障害者やその家族からのニーズに対し可能な限り応えるよう配慮した。

施設設備については、老朽化した浴室脱衣場の床を張替え、安全で快適に利用できるよう努めた。衛生面については、建物内の除菌清掃等を毎日実施することで感染症対策に万全を期した。

地域における公益的な取組みとして、会議室及び南側駐車場を貸し出しを提案しているが、集団となるような機会の減少やイベント等の縮小により、駐車場の貸出が1件のみであった。また、地元住民を対象に施設の案内や福祉体験・スポーツ交流会等を計画したが、いずれもコロナの影響により中止となった。

施設経営面では、収益の向上を図るため、利用者の確保や稼働日数を増やす他、障害状況が重度化した利用者の支援区分の見直し調査等を逐次依頼するなど、きめ細かい取り組みに努めた。また、ホームページにより事業所の事業実施状況等を公表するとともに、ホームページ内のブログによって日々の行事、就労作業及び生活状況の紹介を適宜更新するなど、積極的に情報発信を行い、事業活動の安定化に繋げた。

また、感染拡大が続く新型コロナウイルス対策として、国や県の指導に従い、マスクの着用、体調管理の強化、ワクチン接種、行事や活動の内容変更等を実施し、感染予防対策を講じてきた。

	<p>就労移行支援事業サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の就労ニーズに応えるため、施設内外での作業訓練と企業見学及び企業での実習を実施した。更に、ハローワーク、障害者就業センター及び協力企業、相談支援員、関係機関等と連携して就職に向けた支援に取り組んだ結果、1名の利用者が一般企業に就職した。 ○ 一般企業への就職者に対しては、随時、受入れ企業と情報共有を行い、定期的な職場訪問にて、技能向上のためのフォローアップ等に努めた職場定着支援を行った。
<p>就労支援事業</p>	<p>就労継続支援事業B型サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の適性を把握したうえで作業種目を決定し、作業の習熟度を高めるとともに、作業の入荷状況に合わせた人員配置等を行い、作業効率の向上に努めた。自主製品（図面袋等）については、ホームページの活用により県内外の企業から継続的に注文をいただけるよう働きかけるとともに新規顧客の獲得に取り組むことで安定した受注に繋がった。しかし、コロナ禍の影響により自主生産品に関わる材料確保が一時的に滞り、後半にかけて収益を伸ばすことができなかった。その他の作業においては、各企業に協力を仰ぎ受注量を増やした。また、昨年新規に開拓した農業・内職作業等を継続することで生産額を確保した。（前年比+168,249円） ○ 工賃の算定は、工賃会議において、個々の作業状況に応じた業績点の見直しを行い適正な評価の精度向上を図った。また、各企業からの受注量を調整するとともに、作業単価を向上するため取引企業と調整を図り、効率よく取り組めるよう、作業場の環境調整等を行い、利益の向上に努めた。 しかし、高齢化及び機能低下のある利用者が増加傾向にあり、他事業の利用者の協力を仰ぐ状況もあり、工賃は平均時給で前年度を2円下回った。 ○ 多彩な作業科目を設けるため、片手作業用の自助具等の作成を試み、利用者の残存能力を発揮できる環境を整備した。【別紙①-1,2就労支援実施状況】

生活介護支援事業	日常生活作業活動趣味余暇活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別支援計画に基づき、個々の目標に向けた支援を実施した。 ○ 1日又は半日の選択で生き甲斐としての作業活動を提供し、その対価として工賃を支給した。 ○ カラオケ・創作の他、外部講師（華道・絵手紙・音楽レク）による活動の充実を図り、9月に開催された障害者文化展に作品を出品した。 ○ 機能低下や二次障害防止のため、毎日の体操や週に2回（月・木）作業療法士による個別訓練や集団リハ等を実施した。 ○ 定期的な所外活動等がコロナの影響で実施できなかったため、公園や施設の周辺を散歩する内容に変更し、気分転換を図るとともに機能低下防止に努めた。また、少人数での日帰り旅行を実施し、潤いのある生活の提供に心がけた。 ○ 施設敷地内にミニ菜園を作り、ミニトマト、イチゴ、スイカ等を栽培、収穫することができた。 ○ 寝具類（掛け布団、敷布団、枕）は、毎週火・木曜日にシーツ交換と必要に応じてクリーニングを行うことで、清潔で快適な生活が送れるよう支援した。 ○ 食事以外の間食コントロールが必要な方に対し、適切なおやつ提供を行うことで楽しみとコミュニケーションの場が提供出来た。 <p>【別紙② 生活介護 日中活動支援状況】 【別紙③ 統計】</p>
	社会活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県や国からも外出、外泊の自粛要請もあり、施設として情報提供は行うことはできなかった。 ○ 所内活動の一環として、少人数による買い物等の外出支援、障害者文化展の見学を予定していたが、コロナの影響で実施できなかった。そのため、個々の対応での外出支援を提供し、利用者の気分転換を図った。
	家族との交流	<ul style="list-style-type: none"> ○ バーベキュー会、懇親会など施設の諸行事にご家族にも参加していただき利用者との交流を図る計画だったが、コロナ禍の影響で中止、または利用者のみで実施した。 ○ 交流の少ないご家族については、電話や通知などにより利用者の近況を報告した。 ○ 年度始めにはご家族向けに前年度の事業や施設行事等を掲載した広報誌を配布した。また、個別面談等を実施するとともに、家族間並びに職員との交流を図った。
	短期入所	<p>定期的な利用や比較的長期利用もあり、16人の利用者が延べ781日、1日平均2.1人の利用をいただき、利用者個々の利用ニーズに応えることができた。また、コロナ禍であることを考慮し、利用時には直近の体調確認、抗原検査キットにて陰性を確認したうえで慎重に利用を開始した。</p> <p>支援にあたっては、利用者の障害や支援状況に応じて利用する居室の場所等を配慮し、安心して生活が送れるよう、日中活動メニューの充実や快適な生活空間を提供した。</p>
	日中一時支援	<p>蕪崎市が実施する地域生活支援事業の指定を受け、在宅障害者の平日におけるサービス体制を整え、毎週1回1名の受入れを実施した。</p>
在宅障害者支援	地域福祉との連携	<p>【地域交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の構成員として、利用者が地域の方々と好ましい関係をつくり、社会参加の促進を図るには、施設の機能を地域に活用していただく等、地域との連携が必要なことから次の事業を計画した。 ① 納涼会（盆踊り会）コロナの影響により中止 ② サッカーJ2リーグの招待を受けた。（コロナの影響により参加なし） <p>【峡北地域自立支援協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自立支援協議会蕪崎通所グループの事業所部会に所属し、事業所間での問題点や福祉を取り巻く制度についての勉強会等に参加した。また、リモートでの検討会等への参加を積極的に行った。 <p>【ボランティアの受入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 閉鎖的になりがちな入所施設においてボランティアの受入れは、利用者との相互交流と連携を深める貴重な機会であり、生活のアクセントとしても重要なイベントと捉え、受入れを行った。 <p>【別紙④ 令和3年度 見学・ボランティア受入状況】</p>

非常災害時等の安全対策

防災対策

○ 年間防災訓練計画に基づき、夜間訓練を含め年4回の訓練と専門業者による防災器具の法定点検の他、危険箇所等の自主点検も毎月実施し、職員及び利用者の防災意識を高めるとともに安全で迅速な避難体制の確立を図った。

<訓練実施状況>

実施日	訓練内容	備考
6月10日	防災訓練（火災）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他
9月8日	総合防災訓練（地震・火災）	非常放送・地震防護措置・避難誘導・消火・救護炊出・施設間の連絡他
12月8日	防災訓練（夜間火災・水害想定）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練 応援訓練他 水害時の第1避難訓練
3月18日	防災訓練（夜間火災想定）	非常放送・非常通報・消火・避難誘導訓練他

安全管理

○ 事故または事故に繋がる危険性がある行動や問題等に直面した場合、事故インシデント報告及び日誌等により、その内容を速やかに報告するとともに職員朝礼や安全対策会議等により対応策を協議し、情報の共有と再発防止を図った。
インシデントは102件、受診を伴う事故は9件が報告され、主に転倒・誤薬・無断外出であった。

○ 外部からの侵入者に対する不審者対応訓練については、介護施設の実演によるビデオ上映にて全職員が不審者への対処方法等を確認した。
また、さすまた、防犯スプレー等防犯用品の使用方法を再確認した。

○ 緊急時に備えたAED（自動体外式除細動器）等について、全職員が施設内で開催された救命救急講習会に参加した。

地域との連携

災害発生時に援護が必要な地域の障害者等の受け入れに関して、韮崎市との「災害時要援護者の福祉避難所の受入に関する協定に基づく、具体的な受け入れ体制の協議及び地元自治会や消防団との協力体制は、コロナ禍の影響で十分な連携までには至らなかった。

地域生活移行支援

施設入所者の地域移行を推進するため、本人及び家族の意向の相談受付等の体制はあるが、対象要件に合致する利用者がいなかった。

社会福祉村等との連携

福祉村の施設利用者及び支援学校の生徒が、退所後又は卒業後の利用先の選択肢となれるよう、連携強化と情報提供に積極的に関与した。
また、福祉村内の親睦・交流を図る福祉村まつりの企画・運営を担う立場から、積極的な参画をしてきたが、コロナ禍により中止となった。

地域移行支援

実習生の受入れ

福祉人材養成を目的とした大学等からの社会福祉援助技術現場実習や支援学校生の職場実習先として幅広く受け入れ、福祉人材の育成と障害児・者の進路支援機関として積極的に協力した。

実習依頼先	人数	期間	目的
わかば支援学校	3人	5月17日～21日	現場(職場)実習
わかば支援学校	1人	11月10日～12日	現場(職場)実習
帝京学園短期大学	1人	3月2日～18日	資格取得実習

受入者数 計5人

施設 の 適 正 か つ 効 率 的 な 維 持 管 理	前項同	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設貸出状況：高校体育連盟サッカー専門部 1回（南側駐車場 試合等） ○ 地元老人会への施設案内他（スポーツ交流等）中止 ○ 地元中学生への施設業務の説明会（福祉の仕事体験）中止 																																																																								
	公益的な 取 組 み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の保守管理に万全を期するとともに、安全・快適な環境を維持し利用者サービスの向上を図った。また、老朽化の著しい設備・備品等については適切な施設の維持管理を継続するため、次のとおり必要な改善を行った。 ○ 建築設備、ボイラー設備、電気設備、消防設備、地下灯油タンク、水回りなどの定期点検を専門業者に委託するとともに、自己点検を実施した。また照明設備、備品、植栽、車両、施設周辺の点検及び清掃などを行い、安全で安心な居住空間の確保を留意した。 																																																																								
	施設管理	<table border="0"> <tr><td>1</td><td>Wブロック乾燥機更新</td><td>令和3年</td><td>4月13日</td></tr> <tr><td>2</td><td>簡易居室（プレハブ倉庫）火災報知器設置</td><td>令和3年</td><td>4月16日</td></tr> <tr><td>3</td><td>Yブロック利用者用洗濯機更新</td><td>令和3年</td><td>4月21日</td></tr> <tr><td>4</td><td>地下灯油タンク法定点検</td><td>令和3年</td><td>5月13日</td></tr> <tr><td>5</td><td>第1作業棟エアコン1基入替え</td><td>令和3年</td><td>5月15日</td></tr> <tr><td>6</td><td>水道水質検査</td><td>令和3年</td><td>5月24日</td></tr> <tr><td>7</td><td>W、Hブロック利用者用乾燥機更新</td><td>令和3年</td><td>6月22日</td></tr> <tr><td>8</td><td>プレハブ倉庫漏電修理</td><td>令和3年</td><td>7月 2日</td></tr> <tr><td>9</td><td>車両いすゞトラック納車</td><td>令和3年</td><td>7月28日</td></tr> <tr><td>10</td><td>短期棟トイレ修理</td><td>令和3年</td><td>9月16日</td></tr> <tr><td>11</td><td>浴室床張替工事</td><td>令和3年</td><td>9月21～23日</td></tr> <tr><td>12</td><td>離床センサー付電動ベット導入（県補助事業）</td><td>令和3年</td><td>9月30日</td></tr> <tr><td>13</td><td>Aブロック利用者用洗濯機更新</td><td>令和3年</td><td>10月 4日</td></tr> <tr><td>14</td><td>給油ボイラ、ろ過器、水道ポンプ室点検</td><td>令和3年</td><td>10月26日</td></tr> <tr><td>15</td><td>高性能空気清浄機4台導入（県補助事業）</td><td>令和3年</td><td>12月22日</td></tr> <tr><td>16</td><td>外灯取替工事（厨房西南）</td><td>令和4年</td><td>2月15日</td></tr> <tr><td>17</td><td>厨房温蔵庫修理</td><td>令和4年</td><td>3月28日</td></tr> <tr><td>18</td><td>防犯カメラモニター修理</td><td>令和4年</td><td>3月30日</td></tr> </table>	1	Wブロック乾燥機更新	令和3年	4月13日	2	簡易居室（プレハブ倉庫）火災報知器設置	令和3年	4月16日	3	Yブロック利用者用洗濯機更新	令和3年	4月21日	4	地下灯油タンク法定点検	令和3年	5月13日	5	第1作業棟エアコン1基入替え	令和3年	5月15日	6	水道水質検査	令和3年	5月24日	7	W、Hブロック利用者用乾燥機更新	令和3年	6月22日	8	プレハブ倉庫漏電修理	令和3年	7月 2日	9	車両いすゞトラック納車	令和3年	7月28日	10	短期棟トイレ修理	令和3年	9月16日	11	浴室床張替工事	令和3年	9月21～23日	12	離床センサー付電動ベット導入（県補助事業）	令和3年	9月30日	13	Aブロック利用者用洗濯機更新	令和3年	10月 4日	14	給油ボイラ、ろ過器、水道ポンプ室点検	令和3年	10月26日	15	高性能空気清浄機4台導入（県補助事業）	令和3年	12月22日	16	外灯取替工事（厨房西南）	令和4年	2月15日	17	厨房温蔵庫修理	令和4年	3月28日	18	防犯カメラモニター修理	令和4年	3月30日
	1	Wブロック乾燥機更新	令和3年	4月13日																																																																						
2	簡易居室（プレハブ倉庫）火災報知器設置	令和3年	4月16日																																																																							
3	Yブロック利用者用洗濯機更新	令和3年	4月21日																																																																							
4	地下灯油タンク法定点検	令和3年	5月13日																																																																							
5	第1作業棟エアコン1基入替え	令和3年	5月15日																																																																							
6	水道水質検査	令和3年	5月24日																																																																							
7	W、Hブロック利用者用乾燥機更新	令和3年	6月22日																																																																							
8	プレハブ倉庫漏電修理	令和3年	7月 2日																																																																							
9	車両いすゞトラック納車	令和3年	7月28日																																																																							
10	短期棟トイレ修理	令和3年	9月16日																																																																							
11	浴室床張替工事	令和3年	9月21～23日																																																																							
12	離床センサー付電動ベット導入（県補助事業）	令和3年	9月30日																																																																							
13	Aブロック利用者用洗濯機更新	令和3年	10月 4日																																																																							
14	給油ボイラ、ろ過器、水道ポンプ室点検	令和3年	10月26日																																																																							
15	高性能空気清浄機4台導入（県補助事業）	令和3年	12月22日																																																																							
16	外灯取替工事（厨房西南）	令和4年	2月15日																																																																							
17	厨房温蔵庫修理	令和4年	3月28日																																																																							
18	防犯カメラモニター修理	令和4年	3月30日																																																																							
衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者には、生活の場としての意識づけを持たせる中、シーツ、カバー類の交換や居室の清掃などを職員と行う機会を持つとともに、オムツの供給、汚物処理、ごみ処理など専門業者と連絡を密にしながら適切な処理を行った。 ○ 浴槽のレジオネラ菌の発生防止や水質管理についても専門業者に衛生管理を委託するなど生活環境の向上を図った。 ○ <u>コロナ感染症予防対策等として、除菌による清掃の徹底及び食堂・作業棟・各トイレ等、出入りの多い箇所には、除菌スプレーを設置し衛生管理に努めた。また、購入した空気清浄機は、食堂・生活活動室等に設置した。</u> 																																																																									
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康の保持・増進のため、異常の早期発見に努め必要な受診を支援した。 ○ 個人の残存機能を見極め、機能維持できるよう支援した。 ○ 適切な治療が継続できるように服薬管理・服薬支援を行った。 ○ 新型コロナウイルス感染症予防対策で手洗い・消毒・マスク着用等を徹底した結果、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の発生はなかった。 ○ <u>コロナワクチン接種に向けて関係各所と調整を行い、施設内で3回のワクチン集団接種を順調に実施できた。</u> ○ 血圧・体重測定で体調の変化を把握し、適切な指導・助言を行った。 ○ 皮膚トラブルの予防や軽減のために、爪切り支援や軟膏塗布を支援した。 【別紙⑤ 医務実施状況】 																																																																									
食事支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「楽しくバランスよく食べる」を給食管理の基本として、健康生活の源となる食事支援を行った。 ○ 疾病及び障害の程度や年齢など、身体状況の個人差が大きいと、各個人に適した食事の提供が行えるよう配慮した。また、食事摂取が速い利用者も見られるため、咀嚼等につけゆっくり摂取するよう声かけ支援を行った。 ○ 毎食、肉や魚、パンや麺等好みの料理が選べるセレクトメニューを実施した。また、バーベキューなど食事を伴う施設行事等も予定されていたが、<u>コロナ禍の影響により実施できず、代替行事の中で豪華弁当を提供し喜ばれた。</u> ○ 食事を美味しく咀嚼していただくように、自助具の調整をした。 ○ 年4回開催した給食委員会には、利用者と調理員も参加し、日々の食事内容や環境についての意見や要望が出され、給食に反映した。 ○ <u>コロナ禍での生活様式に変化があり、外出制限や運動不足による骨粗しょう症が心配されるため、食生活で気を付けることなどの栄養教育を行った。</u> 【別紙⑥ 給食実施状況】 																																																																									

苦情解決体制等	苦情解決体制	<p>○ 利用者が施設で提供している福祉サービスに対し苦情はないか、また苦情の申し出方法についての認識度や環境等が整っているか常に把握し、提供する福祉サービスの質向上を図った。</p> <p>▽ 苦情受付件数(総数) 3件</p> <p>▽ 苦情の内容(ア)と解決状況(イ)</p> <p>ア: ①<u>食堂の隣の席の人が耳障りでうるさい。</u> ②<u>同室の人が一日中居室のカーテンを閉ざし、窓の開閉も嫌うため換気等ができない。</u> ③<u>食堂の隣の席の人が大きな声をだす。食事の皿や湯呑を置く時の音が耳障りでうるさい。</u></p> <p>イ: ①<u>申し出人と同席して、気を付けていただくようお願いし納得された。</u> ②<u>同室の利用者が居室を移動することで納得された。居室の換気等については、職員が行っていることを伝え安心された。</u> ③<u>申し出人には食堂の席替えを提案した。離れた席に移動することを承諾された。また、相手の障害も理解しながら生活することを説明し、納得され解決した。</u></p> <p>▽ 第三者委員への報告 令和3年5月24日(令和2年度分)に第三者委員会を開催した。</p>
	相談支援	<p>コロナ禍で外出・外泊・面会等の制約やマスク着用などの行動制限が課せられ、精神的なストレスが言動となって現れる利用者が見受けられる中、少しでも快適な生活が営められるよう、日頃から悩みや要望を受入れられるようきめ細かい対応に配慮した。</p>
	利用者満足度調査	<p>○ 毎年、9月と3月の年2回、利用者満足度調査を実施し、利用者の要望等を把握してサービス向上に繋げている。年度を通じて利用者の出入りがあることから、前回調査等との比較検証は難しい面があるが、全般を通して作業内容や人間関係に関する要望等が多く、危険性があるような場合には、安全管理委員会に問題提起するなど、業務改善に取り組んだ。</p> <p>○ 自らのサービス内容の妥当性を評価し、問題を早期に発見し改善するため、自己評価を1月に実施し、ホームページに掲載するとともに、課題や改善点の明確化に取り組んだ。</p>
事業所の平等な利用の確保	施設の運営	<p>○ 施設ホームページの更新と活用により、施設利用を促進させると同時に、施設事業の実施状況をリアルタイムに発信した。</p> <p>○ 利用契約の際、利用者及び家族に対し当該事業の基本方針及び支援内容をわかりやすく説明するとともに、目標達成に向けた計画に基づいた支援を行った。</p> <p>○ 利用者の健康管理及び身体機能の維持・向上を目的として、看護師と作業療法士を中心に支援の充実を努めた。</p> <p>○ 施設事業の内容について、全体集会やオリエンテーション等で利用者への説明を行い、利用者の意向が反映できるよう支援を行った。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、家族等に複数回情報を提供しながら、面会や外出について理解と協力を求めた。 【別紙⑦ 事業実施状況】</p>
	個人情報の保護	<p>協会の定める個人情報保護規程に基づく「個人情報保護マニュアル」の周知・徹底を促し、利用者個人との接し方から外部来所者との関わりまで、職員の意識を高める取り組みを行った。また、利用者の個人情報を取り扱うことに対して、同意を得るための同意書確認を実施した。</p>
次項同	職員確保	<p>○ 新採用職員2名を迎え、職場定着を図る上から各課にOJT機能を充実させ、新任職員の適切な研修の実施と育成を目指した。また、新たに主査クラスの職員に対し、「リーダー」呼称を復活させて責任感の向上を図った。</p> <p>○ 産休・育休・看護、介護休暇等に対して業務遂行に支障をなくすとともに、女性職員の上位促進と働きやすい職場環境づくりに取り組んだ。</p>

安定的な施設運営のための人的確保

職員研修

福祉サービスの基盤である人材の育成と確保、さらには社会福祉法人の経営能力の向上が重要であることから、必要な研修会等に積極的に参加した。
また、職員間での情報共有とスキルアップを図るため、研修参加者からの復命研修を計画的に実施した。コロナウイルス感染防止対策のため、予定されていた研修が幾つか中止となったが、オンライン研修を受講できる環境を整えた。

<外部研修>

開催期間	研修会名	場所	参加者
6月4日	障害福祉施設 看護職交流会	甲府市	看護師
9月7日	福祉職場での感染症対策研修 (オンライン研修)	施設内	支援員
9月22日	社会就労センター協議会セミナー (オンライン研修)	施設内	支援員
9月27日	OJTリーダー研修	甲府市	支援員
9月30日	福祉の職場・ビジネスマナー研修	甲府市	支援員
10月28日	給食施設関係者研修 (オンライン研修)	施設内	栄養士
11月4日	安全運転管理者講習会	甲斐市	管理課長
1月18日	口腔健康管理研修 (オンライン研修)	施設内	支援員
2月8日	介護現場におけるメンタルヘルス 研修(オンライン研修)	施設内	支援員
2月17日	キャリア形成技術指導事業研修 (オンライン研修)	施設内	支援員
2月18日	虐待防止研修 (オンライン研修)	施設内	支援員
2月18日	社会福祉法人 事務効率化研修 (オンライン研修)	施設内	事務員
3月23日	成年後見人研修 (オンライン研修)	施設内	支援員

<法人研修>

11月16日	救命救急講習	施設内	全職員
12月7日	救命救急講習	施設内	全職員

<所内研修>

1月25日	不審者対応訓練(ビデオ上映)	施設内	全職員
1月25日	衛生教育(感染症対策実施訓練)	施設内	全職員
1月25日	身体拘束について	施設内	全職員
3月29日	虐待防止について	施設内	全職員

保険加入

賠償責任

施設や業務に起因する様々な損害賠償リスクをカバーするとともに、自動車の使用や管理に関する事故に備え、次のとおり保険に加入した。

施設賠償責任保険

対人賠償 1名につき 1億円 1事故につき 7億円
対物賠償 1事故につき 1千万円

自動車保険

対人賠償 無制限
対物賠償 1千万円